

## 【オリエンテーション】

6月中旬に募集から選ばれた留学生が集まり、文京区観光情報発信リポーターオリエンテーションが行われました。実際の訪問に向けての活動内容や流れについて確認をしました。オリエンテーションの後には、白山神社で行われていた「文京あじさいまつり」を訪問し、様々な種類のあじさいを見て楽しみました。



## 【訪問①】

文京区を5つのエリアに分け、各エリアで2名ずつ留学生が活動しています。年度内に4つの観光スポットを訪問する予定で、7月は1回目の訪問が行われました。活動毎に提出されるレポートのうち、5名のリポーターの訪問レポートを紹介します！

### 根津・千駄木エリア

メリッサ マホニー

今日は根津神社とその周辺を訪問した。根津神社は千代田線の根津駅の1番出口から5分くらいだった。神社の庭などを歩いてから、あめ細工吉原に向かった。そこから“根津のたい焼き”に寄って帰った。

根津神社の鳥居をくぐると、まるで東京ではない場所に来たような気持ちになる。本殿は他の東京にある神社と違い、すごく豪華だ。千本鳥居を歩くとまるで小さな伏見稲荷を訪問しているかのようだ。

あめ細工吉原は、あめがあまり好きではないという人でも楽しめる。店は木でできていて、昔ながらの雰囲気がある。宝石のように精巧な砂糖でできた動物や花が壁を覆い、そっときらめく。あめ自体も魅惑的だったが、それ以上に職人の熟練した技術に目を奪われた。お客さんはもちろん完成しているあめを買えるが、目の前で職人に作ってもらうこともできる。職人の2人に1人が20年以上仕事をしてきた。

駅に近づくと、たい焼きの匂いが漂ってくる。根津のたい焼きのビルは過去と今を繋げている日本らしいお店。お店は現代のビルだが、昔ながらの方法を守りながらたい焼きを作っている。たい焼きの中はあんこがたっぷり、外は少しパリッとしていて、ものすごく美味しかった。



## 湯島・本郷エリア

グンジャン ジョシ

今日は湯島天満宮に行きました。湯島天満宮の近辺には多くの駅があります。湯島駅からは徒歩2分です。本郷三丁目駅からも徒歩8分です。

### 【合格祈願の絵馬】

湯島天満宮は、平安時代の有名な詩人、学者、そして政治家であった菅原道真のために捧げられた神道の社です。菅原道真は死後、学問の神である天神となりました。この神社には合格祈願のために多くの学生が訪れます。入試シーズンになると絵馬が多く連なり、人で混雑しているそうです。

### 【牡牛の伝説】

伝説に曰く、菅原道真の葬儀に際して、車を運ぶ牡牛が足を止めて前に進まなくなったそうです。これに由来して、天神に捧げられている神社はどこも牡牛の像があり、どこも絵馬には牡牛が描かれています。牡牛は神使であったと言われていました。

### 【梅まつり】

この神社は春と秋のお祭りで有名です。特に著名なおまつりとして、梅花に関するものと菊に関するものがあります。



## 後樂園・春日エリア

チョウ インキ

今日は小石川後樂園に行きました。丸ノ内線の後樂園駅から歩いて7分くらいでした。白い塀に沿って歩いて、幾つもの角を曲って西門に到着しました。道路に標識があるので道が詳しくなくても大丈夫です。

小石川後樂園は、真夏の庭園で緑が満載です。庭園に入ると森林浴を浴びているようです。太陽の光が木の葉を通して地面に映えて、木漏れ日が綺麗です。

今のところ蓮華が咲いています。蓮華の池の周りで写真を撮る人々がいます。緑溢れる荷葉に囲まれ、美しく咲いている蓮華をもっと見たい気持ちは私も同じです。

木々の中を歩くと蝉の声が聞こえます。小川に沿って歩くと水のせせらぎも聞こえます。庭園内に楓が沢山咲いているので、秋に来たら必ず夏とは違う魅力があると思います。夏には和傘の貸し出しがあります。入り口で無料で借りることができます。日傘用や写真を撮るには最適だと思います。





## 小石川・白山・本駒込エリア

チョウ ショウガン

今日は東洋文庫に行きました。南北線の駒込駅から徒歩約10分でした。駅から出ると最初に感じたのは、ここは静かで東京ではない気がしました。

東洋文庫は、足元から天井までびっしりと本が並んでいて、本好きにはたまらない空間です！写真は三菱の当主が購入した「モリソン書庫」。モリソン書庫は、モリソンという人がアジアについてヨーロッパ言語で書かれた本を集めたものです。

音声ガイドを聞きながら閲覧することをおすすめします。受付にあるポストに掲示されているアプリをダウンロードする必要があります。（入場料：一般900円（学生700円））

その後、隣のカフェで一休み。文庫からカフェまで中庭があり、とてもきれいなのでぜひ行ってください～廊下沿いの壁には、アジアのマイナー言語のことわざが書かれています。古代中国語やサンスクリット語、ラオス語など、形がかわいい文字がたくさんあります。



## 関口・目白台エリア

チェン ペイエン

今日は永青文庫とその周辺を訪問しました。都電荒川線早稲田駅から歩いて7分くらいでした。永青文庫の帰りに水神社と関口芭蕉庵に行きました。

永青文庫は、肥後細川庭園の中にある博物館です。入り口前にアーチ形の石があります。静かな場所です。

水神社の隣は神田川です。昔の人々は安泰な農耕生活のため、神田上水の守護神として水神を祀って、この神社を築きました。

関口芭蕉庵は、水神社のすぐ隣にある場所です。俳人・松尾芭蕉は1677年からの3年間、この地に住んでいたといわれています。敷地内にはいくつかの句碑があります。池も静かに流れています。

